

家族同士がともに共感し、前に向かうために 高齢者デイケア「なのはな」「なのはな家族会」 地域連携支援室「家族セミナー」

患者様にとっての大きな支えである家族。当院では、デイケアに通うメンバーや患者様のご家族が、疾患や介護の悩みを共有したり、問題の解決策などを一緒に考える場として、高齢者デイケアが「家族会」、地域連携支援室が「家族セミナー」を定期的に開催しています。今回はこの2つの会をご紹介いたします。

心のビタミン補給 の場に 「なのはな家族会」



ご家族と語り合う「なのはな」スタッフ

「なのはな家族会」は、重度認知症の方を対象としたデイケア「なのはな」で、利用者のご家族

が参加しています。院外講師やスタッフによる勉強会をはじめ、プログラム体験、メンバーと家族が一緒に参加する新年会、

「なのはな風に」介護に疲れ、涙ながらに語る参加者がいます。厳冬期の徘徊、介護の際の暴力など当事者のみが

語らう会」では、「なぜ私の夫が」「なぜこんな風に」と声を掛け

り合っています。「語らう会」では、「なぜ私の夫が」「なぜこんな風に」と声を掛けながら実際に介護する家族なら

は」と、本人の苦しみを察しての立場からの共感の声が聞かれます。

作品共同制作、バーベキューなどがあります。開催内容はご家族からの要望を反映させながら決定しています。会の後半には、グループ毎にご家族やスタッフが意見交換を行う「語らう会」を開き、日頃の介護の苦労や失敗談、アドバイスなどを語り合っています。

「語らう会」では、「なぜ私の夫が」「なぜこんな風に」と声を掛けながら実際に介護する家族ならではの助言をしたり、励ましの言葉を掛けるなどしています。そんな時、他の参加者が「一人で頑張らないで」と声を掛けながら実際に介護する家族なら

辛い気持を語っていました。

「なのはな」は、統合失調症の患者様のご家族を対象に月1回、地域連携支援室が中心と

なり開催しています。統合失調症への理解を深めるための講義や社会制度に関する勉強会、支援事業所やグループホーム見学などを行うほか、ご家族同士が思いや悩みを共有するための茶話会も開いています。

参加者は10名程度で、10代から中高年まで様々な年齢の患者様のご家族が集まっています。多

不安を希望へと 変えていきたい 「家族セミナー」



毎年恒例の新年会

族の相互交流の場を目指して7年前にスタートしました。月1回開催し、毎回15名ほどのご家族が参加しています。院外講師やスタッフによる勉強会をはじめ、プログラム体験、メンバーと

家族が一緒に参加する新年会、

「なのはな風に」介護に疲れ、涙ながらに語る参加者がいます。厳冬期の徘徊、介護の際の暴力など当事者のみが

語らう会」では、「なぜ私の夫が」「なぜこんな風に」と声を掛けながら実際に介護する家族ならではの助言をしたり、励ましの言葉を掛けるなどしています。そんな時、他の参加者が「一人で頑張らないで」と声を掛けながら実際に介護する家族なら

は」と、本人の苦しみを察しての立場からの共感の声が聞かれます。

「なのはな」は、統合失調症の患者様のご家族を対象に月1回、地域連携支援室が中心と

なり開催しています。統合失調症への理解を深めるための講義や社会制度に関する勉強会、支援事業所やグループホーム見学などを行うほか、ご家族同士が思いや悩みを共有するための茶話会も開いています。

参加者は10名程度で、10代から中高年まで様々な年齢の患者様のご家族が集まっています。多



地域での生活支援に関する講演



就労支援事業所の見学会

くのご家族が本などで疾患に関する知識を得ていますが、医師や専門職の講義を聴き、「実際の現場の様子を交えてのアドバイスはとても参考になる」とお声をいただいています。継続して参加されるご家族が多く、アットホームな雰囲気の会場では、ご家族同士が近況報告や情報交換をし合っています。

ご家族からは、「本人との距離感が難しい」「喜怒哀楽がなくてどうしたらよいか」「自分が死んだ後、入れてくれる施設や

制度について知りたい」など切実な悩みが寄せられ、スタッフや他のご家族との間で、アドバイスや意見が交わされます。特にご家族同士が語り合うことは、

「私だけじゃないんだ」と、同じ立場からの共感の声が聞かれます。

地域連携支援室では、「病気に対する知識や情報を共有するだけでなく、ご家族が抱えてきた苦労や将来への不安などを共有しながら、不安を希望へ変えていけるようなお手伝いをしていきたい」と、セミナー形式か

れていたが、たちへの発展を念頭に運営を行っています。

地域連携支援室では、「病気に対する知識や情報を共有するだけでなく、ご家族が抱えてきた苦労や将来への不安などを共有しながら、不安を希望へ変えていけるようなお手伝いをしていきたい」と、セミナー形式か

れていたが、たちへの発展を念頭に運営を行っています。